

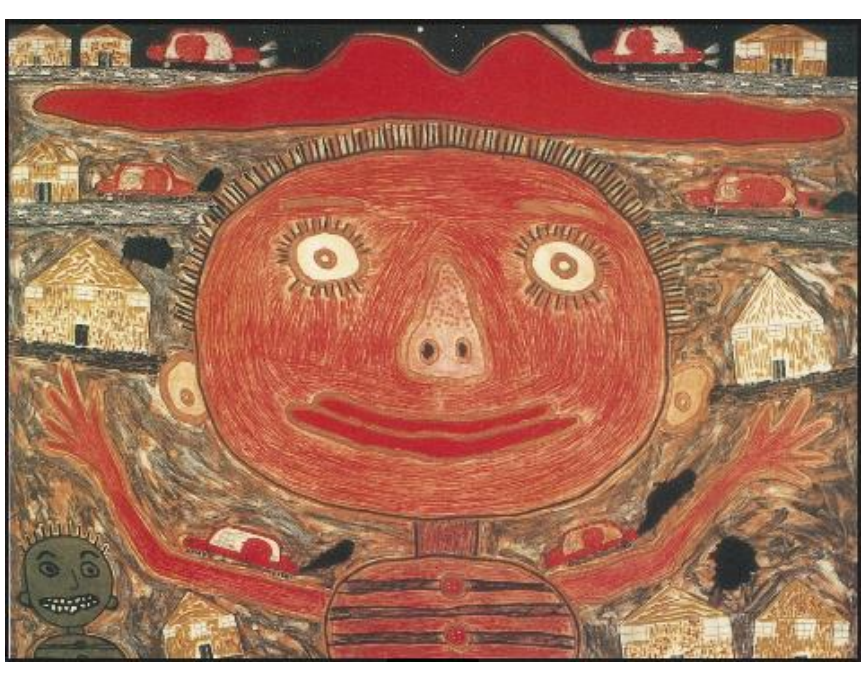
# 知的障害特別支援学校美術科における 対話型鑑賞の実践的研究

**[本研究の目的]** 知的障害特別支援学校における「主体的・対話的で深い学び」に基づく対話型鑑賞の授業モデルの検討

**[今年度の目的]** ① 中学部美術科の授業での対話型鑑賞における「主体的・対話的で深い学び」の現状の分析  
② 「生徒の発言」と「問いかけ」との関連についての検討

## [研究方法]

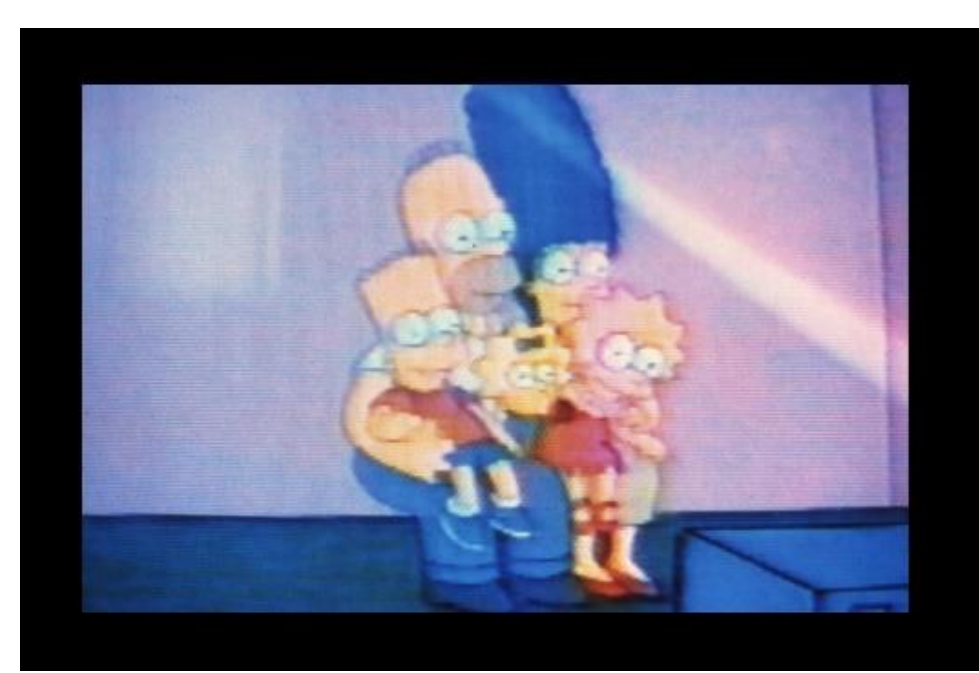
- 対象**  
大阪教育大学附属特別支援学校中学部美術科の授業 (計6回)
- 内容**  
対話型鑑賞を全6回実施/鑑賞作品は3作品



BOWEN, Dean Leslie  
《Envy and Innocence》



作者不明  
《石》

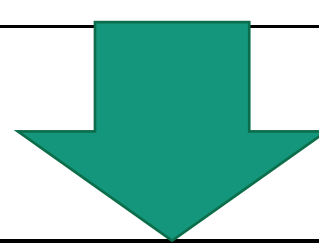


Matt Groening  
《The Simpsons》

- 手続き**
  - 対話型鑑賞における「主体的・対話的で深い学び」の定義づけ (表1)
  - 対話型鑑賞での生徒の発言から「主体的・対話的で深い学び」と「問いかけ」の関連を分析

表1 対話型鑑賞における「主体的・対話的で深い学び」の発言の定義

文部科学省の定義		
主体的な学び	対話的な学び	深い学び
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげている。	子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めている。	習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに関わっている。



対話型鑑賞での定義		
主体的な学びの発言	対話的な学びの発言	深い学びの発言
作品に興味や関心を持って、自分の見方・感じ方を形成し、話している。	教員や友だちとの対話を通じ、自分の見方・感じ方を形成し、話している。	対話型鑑賞の過程の中で、美術科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識や他者の発言を関連付けて、新たな自分の見方・感じ方を形成したり、形成しようとして話している。

## [結果]

- 対話型鑑賞での生徒の発言を4観点に分類 (図1)  
※4観点: ①主体的な学びの発言 ②対話的な学びの発言 ③深い学びの発言 ④その他の発言
- 対話型鑑賞における「主体的・対話的で深い学び」と「問いかけ」の関連 (表2)

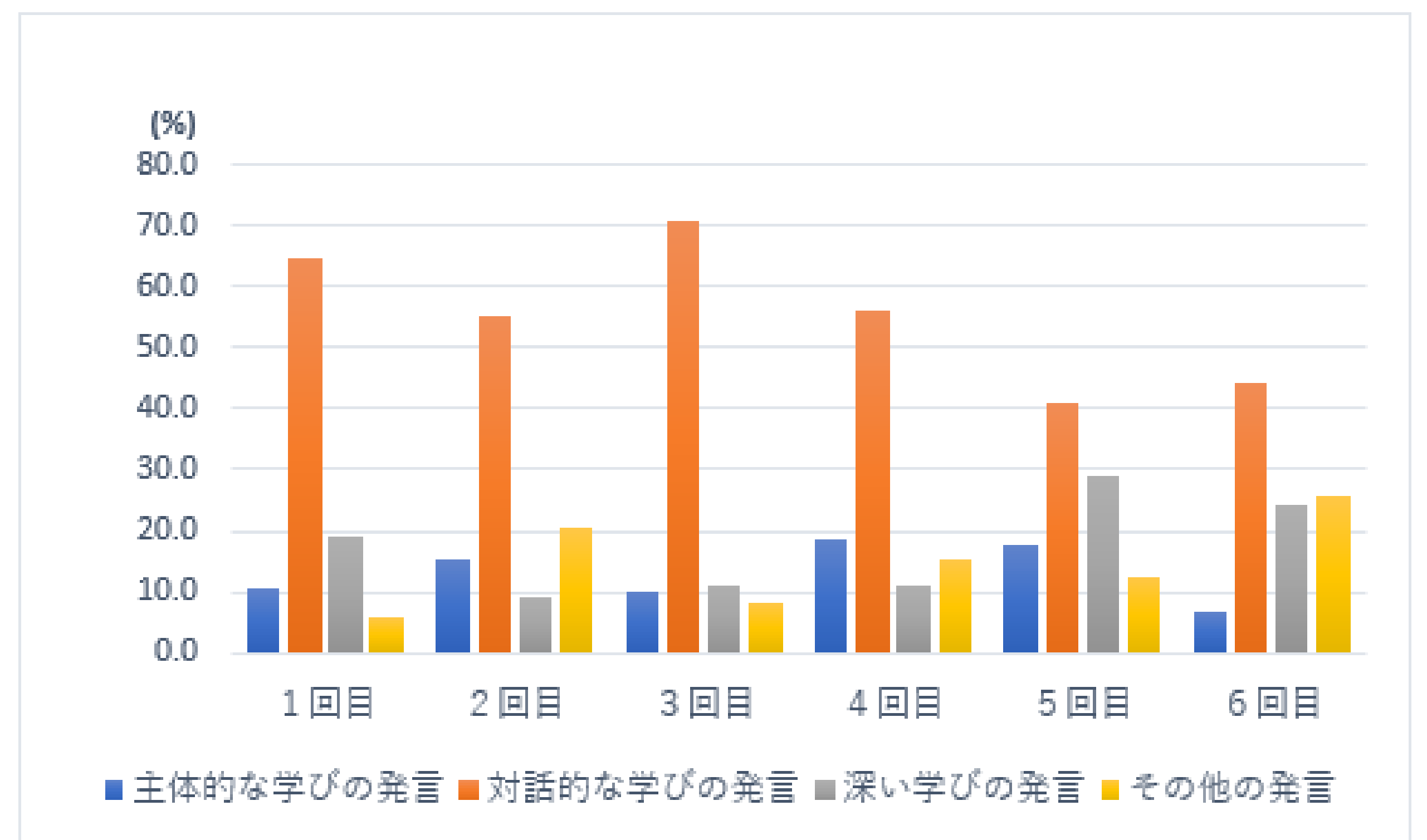


図1 4観点での生徒の発言の割合

表2 対話型鑑賞における「主体的・対話的で深い学び」に関連する「問いかけ」(一部抜粋)

	問いかけの働き	共通する問いかけ (一部抜粋)
「主体的な学び」に関連する問いかけ	作品全体	この作品を見て、発見したことや気づいたことを教えてください。
	作品の一部に焦点化	この作品で気になるところはどこですか？
	作品の要素に焦点化	これは何だと思いますか？
	自由な発言の促し	もう少し話してください。
「対話的な学び」に関連する問いかけ	聴き出す	もう少し詳しく教えてください。
	発言の根拠	どこからそう思いますか？
	話題の確認	それはどこのことを話していますか？
	解釈の確認	それは〇〇ということですか？
	話題の広がり	他に発見したことはありますか？
「深い学び」に関連する問いかけ	知識の提供	(作品に関する知識) を知っていますか？
	抽象的な見方	そこから (時間、距離、季節、空間等の抽象的事象) についてどう思いますか？
	複数の情報を統合した見方	そこ (複数の作品の要素や見方・感じ方、知識等) からどう思いますか？
	複数の情報を比較した見方	これらの相違点を探してみましょう。他に〇〇と思うところはありますか？
	話題の焦点化	これが気になってきました。
発言の根拠	どこからそう思いますか？	

## [考察]

- 知的障害支援学校中学部での対話型鑑賞における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」のつながりを捉えることができた。
- 対話型授業での「準備」「実践」「ふりかえり」の重要な視点 (鈴木・田代, 2019) から結果を捉えると以下のことがわかった。
  - 複数回鑑賞→他者の発言を聴いて見方・感じ方を形成
  - 見る部分の焦点化や身近なものに例えての問いかけが対話を始める時に必要
  - 「フォーカシング」「ポインティング」「パラフレイズ」は、自分の見方・感じ方を形成するために必要
- 今後は、「主体的・対話的で深い学び」が実現された対話型鑑賞の授業での生徒の学習評価の在り方について検討していきたい。